

# 子ども読書支援センターニュース No. 153

2017. 2. 28

山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行

TEL083-924-2111 FAX083-932-2817

<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

## ★メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

## 【山口県子ども読書支援センター行事】

### ★幼児のためのおはなし会

○日時：平成29年3月7日（火）11：00～11：20 ○会場：山口県立山口図書館 ○対象：幼児

《2月のおはなし会で使った本》

『おめんです』 いしかわこうじ/作・絵 偕成社 2014

『しろくまちゃんのほっとけーき』 わかやまけん/え こだま社 1974

『ぼくのくれよん』 長新太/おはなし・え 講談社 2003

『はたらくるまのまいかつかやく』 オームラトモコ/作・絵 教育画劇 2016 ○申込み、連絡先：山口県子ども読書支援センター（電話：083-924-2111 FAX：083-932-2817 Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）

### ★子ども読書ネットワークフォーラム in 宇部

講演会「子どもと本との幸せな出会い」10：00～11：40 講師：張替恵子氏（東京子ども図書館理事長）

「おとなのためのお話し会」13：00～14：30 語り手：張替恵子氏&やまぐち読書推進グループ「本の森」

○日時：平成29年3月11日（土） ○会場：宇部市立図書館 講座室 \*申込みは既に終了しています。

### ★子ども読書ネットワークフォーラム in 長門

ボランティアによる実践発表・意見交換会 10：30～11：30

「『しごとば』ができるまで—新幹線運転士、東京スカイツリー一駅に停まります！—」

ワークショップ型講演会 13：00～14：30 講師：鈴木のりたけ氏（絵本作家）

○日時：平成29年3月19日（日） ○会場：長門市立図書館 視聴覚室

○対象：図書館関係者、学校図書館関係者、読書ボランティア、子ども読書に関心のある人、講演会は小学生以上の方

○定員：80名（要申込み・先着順） ○参加費：無料 ○申込み先：長門市立図書館（TEL：0837-26-5123 FAX：0837-26-2775）

## 【新刊紹介】 価格は消費税抜き

### <絵本—乳幼児から>

『ちやぶちやぶーん』 得田之久/文 及川賢治/絵 福音館書店 2017.2 ¥389

ぞうさんみずあそび、ちやぶちやぶーん。くまさんおすもう、どすどすどつん。ぶたさんでんぐりがえし、ごろごろごろーん。さるさん、うさぎさん、かめさん、かえるさん、てんとむしさん…。動物や虫たちが、画面いっぱい、いろいろな遊びを展開。ユーモラスな動物の姿と、擬態音がマッチした楽しい繰り返しのボードブック絵本。「こどものとも0.1.2.」263号（2017年2月号）

### <絵本—3, 4歳から>

『てじなのやかた』 土屋富士夫/作 福音館書店 2017.2 ¥389

ようこそ、手品の館へ。さあ、自慢の手品をお見せしましょう。「あんどら、いんどら、うんどら」の掛け声とともにページをめくると、トランプのカードをびたりと当てたり、果物をジュースにしたりと不思議な手品が…。仕掛け絵本のページをめくれば手品ができる、1998年発行『てじな』（福音館書店）の続編。「こどものとも年少版」479号（2017年2月号）

『すなばんざ』 鈴木のりたけ/作・絵 PHP研究所 2016.12 ¥1000

「公園の砂場で男の子と女の子が遊んでいた、すなばんざと砂が降ってきて一面の砂。友達とはぐれた女の子が、埋まった文字を引っ張るとバケツをかぶった変な「すなばんざ」が…。砂の山を掘り進み、再び出会ったふたりは、「すなばんざーい！」。ナンセンスな内容と言葉遊びが楽しめる絵本。『しごとば 東京スカイツリー』（ブロンズ新社）の作者による。

### <絵本—5, 6歳から>

『だるまちゃんとおうちちゃん』 加古里子/さく・え 福音館書店 2016.12 ¥900

だるまちゃんの新しい友だちは、お寺の子。体が大きいので、におうちちゃんと呼ばれている。力くらべなら自信のあるだるまちゃん、におうちちゃんと勝負することに。相撲、棒押し、綱引きと、取り組むものの、決着はつかない。最後はらめっこで決めることに。さて勝敗は？1945年、戦火を免れた境内を舞台に、未来への作者の思いをこめて作られた作品。「だるまちゃん」シリーズ8作目。

### <絵本—小学校低学年から>

『きりのなかのかくれんぼ』 A.トレッセルト/文 R.デュボアザン/絵 片山令子/訳 復刊ドットコム 2016.11 ¥1800

海から生まれた霧。最初に気づいたのはエビ捕り漁師。籠を仕掛けて港に戻ります。ヨットレースは帆が濡り中断。砂浜で遊ぶ家族たちも、パラソルや籠を持って家に戻ります。3日間続く霧で漁はできず、街は霧で覆われ、買い物にも不自由。でも子どもたちは霧が大好き。かくれんぼにはうってつけです。海辺の町の3日間を描いた絵本。1966年コールデコット賞受賞作。

### <絵本—小学校中学年から>

『42本のローソク』 塚本やすし/作・絵 富山房インターナショナル 2016.11 ¥1600

もうすぐお父さんの42歳の誕生日、厄年が始まる。お父さんが病気や怪我で苦しまないように、少年はお兄ちゃんと相談して、大きないちごのショートケーキをプレゼントすることにした。空き缶に小銭をため、ケーキが売れてなくなってしまうまいか、お店に確認に行く毎日。当日、ケーキを買いに行くと10円値上がりしていた…。作者の少年時代の逸話をもとにした親子の情愛物語。

『くまのトーマスはおんなのこ ジェンダーとようじょうについてのやさしいおはなし』 ジェシカ・ウォルトン/さく ドゥーガル・マクファーソン/え かわむらあさこ/やく ポット出版プラス 2016.12 ¥1500

エロール少年と熊のぬいぐるみのトーマスは、毎日一緒に遊ぶ友だち。ある日、エロールは公園に誘うが、トーマスは元気がなく浮かぬ様子。重い口を開いて出た言葉は、「自分は男の子じゃなくて女の子の熊。私は自分らしくいたい。」エロールが返した言葉は？女性に性転換した父親をもつ作者が、多様な家族のあり方を幼い息子に伝えるために作った、トランジェスターをテーマにした絵本。

### <絵本—小学校高学年から>

『塩田の運動会』 那須正幹/作 田頭よしと/画 福音館書店 2017.1 ¥1500

防府市で江戸時代から続いていた塩作りだが、昭和34年には三田尻塩田は廃止され、その跡地は工場団地になることに。そうな

る前に町をあげての大運動会を開いて、塩田をみんなの記憶に残すことになった。塩田の跡地で一回だけ行われた大運動会の思い出と、古代からの塩作りの発展史とを重ね合わせたユニークな絵本。防府市出身の画家の小4での実体験をもとに描かれた絵本。

＜読み物一小学校低学年から＞

『おしるのぼん人とガレスピー』 ベンジャミン・エルキン/ぶん ジェームズ・ドーハーティ/え 小宮由/やく 大日本図書 2017.1 ¥1400

世界中の誰よりも目がいいと噂される三人の兄弟。隠された物を見つめることができる。王様は、三人を番人として雇い、財産を守ることに。自信満々の王様は、「この三人を騙せた者には、ほうびを贈る」と発表。世界中の多くの人が盗みに挑戦し失敗する中、少年ガレスピーはある考えを思いついた…。絵本から読み物へ移行する時期の子にぴったりの幼年童話。

＜読み物一小学校中学年から＞

『ドールハウスはおぼけがいっぱい』 柏葉幸子/作 ひらいたかこ/絵 ポプラ社 2017.1 ¥980

木かげ美術館、別名おぼけ美術館に収められた美術品は、絵画や掛け軸の中のもの、おぼけになって出てくる。子どもにしか見えないそのおぼけたちの世話をするために、小5のみひるは館長を仰せつかった。ある日、東京の美術館に貸し出されている絵画に住む少女から、ドールハウスに閉じ込められそうだとSOSの電話が。館長は早速対応に追われる。「おぼけ美術館」シリーズ4作目。

＜読み物一小学校高学年から＞

『赤毛のゾラ』上・下 クルト・ヘルト/作 酒寄進一/訳 西村ツチカ/画 福音館書店 2016.11 ¥800

母を亡くし、12歳でひとりぼっちになったブランコは、赤毛の少女ゾラとその仲間たちとともに、古城をめぐらしたたかまに生きていく。クロアチアの港町を舞台に、たくましく生き抜こうとする孤児たちと厄介者あつかもする町の権力者たちとの戦いが白熱。一方、彼らを対等な人間として扱う大人たちもいて…。原書は1941年出版。長崎出版 2009年刊を底本に、「福音館文庫」として刊行。

『十一月のマーブル』 戸森しるこ/著 講談社 2016.11 ¥1300

小6の波楽（はら）は、小説家の父、父の再婚相手の母、その二人の子である妹の4人暮らし。ちょっと複雑な家族であるとは思ってはいけけれど、父の部屋で見つけた一枚のハガキから、12歳の子には重過ぎる秘密を知ることになる。いつもそばにいてくれる友だちのレンに、その苦しい胸のうちを分かってほしいのだが…。LGBTの悩みも盛り込まれ、読みごたえのある1冊。

＜読み物一中学生から＞

『紅（くれない）のトキの空』 ジル・ルイス/作 さくまゆみこ/訳 評論社 2016.12 ¥1600

12歳のスカレットは、自分の世界に住む8歳の弟レッドと、心を病む母親の面倒を見ながら学校へ通う。ソーシャルワーカーを安心させ、家族で暮らせるようあらゆる努力をしていたのに、火事のせいで離れ離れ…。居心地のいい里親の下でスカレットは子どもらしさを取り戻すいっぽう、施設へ入れられた弟を取り戻すべく行動する。評論社の児童図書館・文学の部屋。

『夜の庭師』 ジョナサン・オージェ/著 山田順子/訳 東京創元社 2016.11 ¥1160

19世紀、アイルランドの大凶作を逃れ、イングランドを目指したものの、たどり着いたのは14歳のモリーと生まれつき足の悪い11歳の弟だけ。住み込み奉公先で二人を待っていたのは、巨木に覆われた奇怪な屋敷と、夜中に屋敷を歩き回る不気味な影。ゴーストストーリーの恐怖とともに二人の兄弟愛と成長に心温かくもなる話。カナダ図書館協会児童図書賞受賞。創元推理文庫。

＜ノンフィクション一小学校低学年から＞

『ライオンの赤ちゃん』 さえぐさひろこ/文 井上冬彦/写真 新日本出版社 2016.12 ¥2300

アフリカの大草原サバンナで群れをつくって生活するライオン。群れで生まれた子は、3歳位まで、兄弟や他の赤ちゃんたちと、共同生活を送る。大自然で生きるライオンの赤ちゃんの成長や生態の不思議を物語る写真絵本。小1国語科「どうぶつ」の「赤ちゃん」等での活用可。『しりたいな！ どうぶつ」の「赤ちゃん」シリーズの1冊。他にシマウマ、ゾウ、ホッキョクグマの巻あり

＜ノンフィクション一小学校中学年から＞

『すがたをかえる食べものずかん』 石井克枝/監修 あかね書房 2017.1 ¥5000

大豆・米・麦・とうもろこし・いも・牛乳・魚の7つの食べ物が、どのように手を加えられて変身するかを、多くの写真を用いてわかりやすく紹介。熱をくわえる方法として、ゆでる・煮る・蒸す・いる・炒めるなど、言葉にも注目し、意味の違いを説明した。完成した食べ物の食べ方や、さらに別の物に変身することも紹介。小3国語科「食べ物のひみつおしえます」等の単元で活用可。

『きみに聞いてほしい 広島に来た大統領』 バラク・オバマ/述 池上彰/訳 葉祥明/画 徳間書店 2016.12 ¥1600

2016年5月27日、アメリカのオバマ大統領が広島を訪問した際の演説を、ジャーナリストの池上彰が翻訳し、美しいイラストとともに収録。演説原文も掲載。広島で実際に演説を聞き、感動したという翻訳者は、あとがきで、原爆投下当時の、アメリカとソ連の勢力争いの様子や考え、オバマ大統領が広島にやってきたいきさつ等を、分かりやすく解説する。

＜ノンフィクション一中学生から＞

『正しい目玉焼きの作り方 きちんとした大人になるための家庭科の教科書』 森下えみこ/イラスト 毎田祥子他/監修 河出書房新社 2016.12 ¥1300

いざ一人暮らしにしても困らないように、洗濯、料理、掃除、裁縫の4つについて、それぞれの先生が漫画やイラストなどを多用して、わかりやすく教える。アイテム別の干し方のポイントやアイロンのかけ方、包丁の使い方や切り方、手縫いの基本など、このイラストを見れば誰でもできそう。知っておくと生活力がアップする実践に役立つ1冊。「14歳の世渡り術」シリーズ。

＜研究書＞

『写真とイラストで辿る金子みすゞ』 小倉真理子/著 勉誠出版 2016.9 ¥1800

大正・昭和の童謡詩人・金子みすゞの研究家が、自ら仙崎や下関を巡ったカラー写真と当時の写真を見比べながら、詩とともに生誕の地・仙崎や成年期を過ごした下関の街並みなどを紹介する。第2章では金子みすゞの生涯を資料の写真や詩を添えて解説、第3章では作品から読み解くみすゞの人生を考察している。ビジュアルで手に取りやすい一冊。

【県内の動き】

★児童文学わいわい講座

- 講師：村中 李衣氏（児童文学作家） ○日時：平成29年3月4日（土）10：00～12：00
- 会場：山陽小野田市立中央図書館 2階 第1会議室 ○定員：20名程度 ○参加費：無料
- 照会先：山陽小野田市立中央図書館（TEL:0836-83-2870）

★聞いてガッテン動物のひみつ！～元旭山動物園飼育員の絵本作家・あべ弘士と小野文恵アナの夢の対談！～

- 日時：平成29年3月5日（日）13：30～ ○会場：海峡メッセ下関9階海峡ホール
- チケット代：大人1300円 こども500円 ○照会先：こどもの広場（TEL:083-232-7956）

★子育て絵本カフェ

- 内容：赤ちゃん絵本の紹介、読み聞かせ、子育てに関する本の紹介等
- 日時：平成29年3月22日（水）11：00～ ○会場：山陽小野田市立中央図書館 2階 和室
- 対象：妊婦さん、ママ、パパ ○定員：10組程度（申込順） ○参加費：無料
- 照会先：山陽小野田市立中央図書館（TEL:0836-83-2870）

※子どもの本や読書についてのイベント情報をお寄せください。